

紹介元医療機関

ご担当の先生方 各位

令和4年5月

島根大学医学部附属病院

がんゲノム医療センター長 磯部 威

病理部長 門田 球一

### 遺伝子パネル検査に用いる病理検体に関するお願い

平素より、島根大学医学部附属病院の診療へご理解ご協力を賜りまして誠にありがとうございます。

がんゲノム医療（遺伝子パネル検査）目的に患者さんを当院へご紹介いただく際、特に病理検体の取扱いに関するご留意点を下記にご案内いたします。

- ① 「腫瘍部のパラフィンブロック」と「HE スライドガラス」を貸与ください。（貴院での病理診断で多数の染色をしている場合は薄切面が変わっている可能性が高いため、HE スライドを再薄切してご準備ください。）
- ② 必要な検体量の目安は、「腫瘍含有率 20%以上」「腫瘍量 1mm<sup>3</sup> 以上」（Foundation One の場合）とされています。詳細な条件は「がん遺伝子パネル検査チェックリスト」をご確認ください。
- ③ ご施設の方針でパラフィンブロックの貸与不可の場合は、一旦「HE スライドガラス」を借用してください。当院病理部にて腫瘍含有率などを判定したのち、必要なスライド枚数をお知らせしますので、指示に従って未染スライドをご準備ください。

**※原則パラフィンブロックの貸与にご協力をお願い致します。**

- ④ 借用した病理標本は、当院主治医が責任持ってお預かりいたします。貴院から直接当院病理部へ郵送される、あるいは当院病理部から貴院へ返却する、といったことは標本の紛失に繋がりますので、一切お受けできません。

スムーズな出検と標本の紛失防止のため、引き続きご理解ご協力の程、どうぞよろしくお願いいたします。